



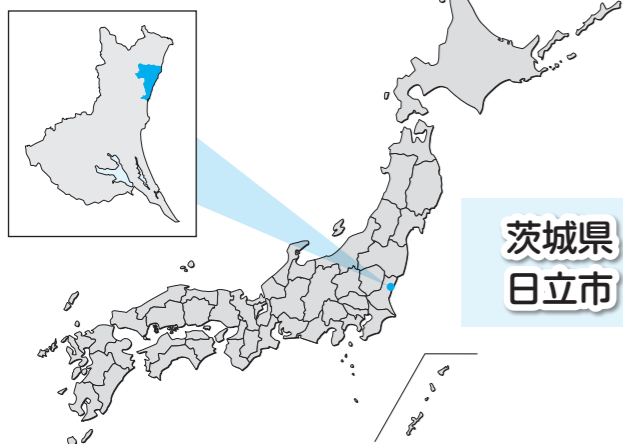
南町 若狭朋代 さん

日立市は、茨城県の北東部に位置し、太平洋に面した市です。かつて日本の四大銅山に数えられた日立鉱山があり、日立製作所の創業の地としても知られています。

最近では、パワースポットブームで入四間町の御岩神社が「神仏を祀る唯一の社」として注目されています。また、駅前から延びる平和通りなどで開催される「日立さくらまつり」も有名です。この祭りで公開される日立風流物は、操り人形を乗せた高さが15mもあるカラクリ仕掛けの山車で、人形が動き、山車が回る様子は一見の価値あります。

帰省時には自分が子どものときに遊んだ、かみね公園に行きます。そして、海沿いの道路を通り、車の窓を開け海の匂いを嗅ぐと、ふるさとに帰ってきたことを実感します。日立の地魚のメヒカリ、エビ、タコ、カレイなど、どれも新鮮でおいしいです。

進学で福島に来て数十年、そのうち須賀川に住んで8年になります。日立で過ごした時間より長い時間を福島で過ごしています。いまだに雪が苦手です。お正月になると今は松前漬けよりいかにんじんが食べたくくなります。これからも須賀川で家族や友人と楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。



茨城県 日立市



サイクルとわたし



点訳・ふれあいの会

代表者 鈴木恵子
 会員 9人
 発足年月 平成4年11月
 連絡先 ☎(76)3478
 活動日 主に毎月第1・3土曜日
 活動場所 tette

点訳・ふれあいの会は、平成4年に発足し、今年で30年を迎えます。主に、点字・音声図書の情報提供を行う「サピエ図書館」への蔵書製作協力を行っており、会員はそれぞれ自宅のパソコンを使用して、1人年間2~3冊の本の点訳を行っています。また、月2回、点字技術の向上や会員の親睦を深めるため、勉強会を開いています。

点訳は、文字をただ点字に置き換えるだけではなく、意味の取り違えが起こらないように、ルールに従って文章を区切る作業や、固有名詞の調査、文法の理解など、難しい面もありますが、1冊の本の点訳が終わったときは達成感を感じ、新たな本に挑戦する意欲が湧いてきます。また、年1回、自分たちが点訳した本のダウンロード数が分かるので、実際にどのくらい利用されているか実感でき、やりがいにつながります。

視覚障がい者の方の人生がより豊かになるよう、私たちと一緒に活動しませんか？



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加の際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA tette Instagram

tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

季節イベント「フォトスポット ひなまつり」

2月15日(火)~3月3日(木)

tetteスクール「簡単つまみ細工で作るひな飾り」

2月20日(日) 午前10時~11時30分

※事前申込

tetteスクール

「愛され女子のボディメイク」

3月5日(土)・12日(土)

午前10時~11時30分(全2回)

※事前申込



tette動画を配信中

生活に役立つ情報をはじめ、家族で楽しめる工作や体操などの動画をtette公式Instagramで配信しています。ぜひご覧ください。



簡単つまみ細工で作るひな飾り(2月1日配信)

こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

子育て支援講座「ベビーマッサージ」

2月17日(木) 午前10時~11時 ※事前申込(先着5組)

親子イベント「ひな飾りをつくろう」

2月18日(金)~20日(日)に制作セットを配布

※事前申込(先着15組)

子育て相談会

2月24日(木) 午前10時30分~11時30分

※事前申込(先着2組)

図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

2月12日(土)・26日(土) 午後2時

※自由参加(定員20人)

おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)

2月16日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

大人のための朗読会(朗読:図書館職員)

2月18日(金) 午後6時 ※自由参加(定員10人程度)



民家の茅葺き屋根と、一段高く設けられた煙出し

博物館 ☎(75)3239

市内ではほとんど見ることなくなりましたが、南会津の「大内宿」など、茅葺き屋根の家は、今では貴重な建物となっています。

寒い冬場は、煙出しから白い煙がモクモクと立ち上り、あの匂いを懐かしいと思う人もいるかもしれません。

茅葺き屋根の家の多くは、薪を燃やす囲炉裏が設置されていました。今は暖房に電気や灯油を用いますが、昔の家では、囲炉裏やストーブ、こたつなどに薪や練炭を燃やして暖を取っていました。囲炉裏から出る煙は、屋根の茅を乾燥させ、腐食防止や害虫駆除の役割があり、この煙を家の外へ逃がすため、屋根には排気口としての「煙出し」がついていました。特に

ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.330

-昭和の記録写真から-

茅葺き屋根と冬 (昭和40年代前半)